



経営上のお悩み、相談しませんか？

「よろず支援拠点」は、国が平成26年度から全国に設置している無料の経営相談所です。中小企業の皆さまの売上拡大や経営改善等、経営上のあらゆるお悩みに対応します。

相談事例の紹介

カイゼンの積み重ねで売上前年対比200%超え！
地元住民にも愛されるハワイアンカフェ

担当コーディネーター

押岡 洋子

01 相談のきっかけ



相談者は、ハワイアンカフェを営むご夫婦。若い方に人気があり、同施設内では「RVパークの運営」や、「ハワイアン雑貨の販売」なども手掛けています。相談のきっかけは日本政策金融公庫からの紹介で「新型コロナで離れてしまったお客様が戻らず売上が低迷しており、SNS (Instagram) を活用してなんとか集客に繋げて売上を回復させたい」という相談でした。

02 現状分析と課題把握



相談者の強みは、投稿に対して積極的な姿勢と投稿写真の加工技術であると把握しました。一定のファンがついていることから、戦略的にアカウントを管理すること、検索アルゴリズム (検索結果の表示順を決める基準) の知識を身につけることで認知度を上げ、集客につなげることができると考えました。

一方、相談者は会計面において、経理や数値管理に苦手意識を持っていることが課題でした。

03 解決策と提案の実施



SNSについてはインサイトの見るべきポイントをアドバイスして、どの投稿が集客につながり、どの投稿が売上に貢献したのかを分かりやすくお伝えしました。

会計面においては毎月の売上を把握するため日々の売上をノートに書込み、数値を見える化するように提案しました。また、原価率を再計算したことで、メイン商品の原価が50%を超えていたことが判明し、仕入れ先の変更と販売価格の改定についても提案しました。

04 支援の成果



支援開始以降、毎月の売上は前年同月を上回り、直近上半期の売上は前年対比200%を超える結果となりました。仕入れ先を見直し、地元ベーカリーに専用のパンズを開発依頼。野菜は可能な限り地元農家から直接仕入れることにより、販売価格を値上げしたことから原価率は50%から30%へ下げることが成功しました。

さらに資金繰りが安定したことで、次の課題であったHPの改修やRVパークの設備改修にも着手することができました。



相談者の
声

よろず支援拠点さんに地元のパン屋さんや生産者さんを紹介していただき、地元食材を使ったメニューの改善や、SNS活用などのアドバイスを受けたことで、多くのお客様のご来店につながりました。

毎回様々な提案をしていただき、課題にも積極的に取り組むことができ、大変感謝しています。ありがとうございました。



Aloha Village

代表者 中村 雄大

住 所 高知市春野町甲殿1422-27

T E L 088-854-8588

お問い合わせ・ご相談予約 (公財)高知県産業振興センター内 高知県よろず支援拠点

住 所 〒781-5101 高知市布師田3992番地2 高知県中小企業会館5階

MAIL yorozu@yorozu-kochi.go.jp

T E L 088-846-0175

対応時間 8:30~17:15(土日祝日を除く平日)

高知県よろず

検索

